

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業概要	事務事業名	成人祝賀式開催事業						担当部	教育委員会事務局			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	生涯学習課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	青少年育成係		
	総合計画 分野別計 画	主目的	4 教育文化		17 生涯学習		2 住民の主体的な活動を支援する					
		副目的										
	予算区分	款	10	項	5	目	4	大	5	中	1	
	根拠法令・個別計画	生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画										
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/> 地域住民組織			<input type="radio"/> 一部又は全部委託				
		指定管理・外郭団体			名称:							
		<input type="radio"/> NPO・その他			名称: 小牧市成人祝賀式運営委員会							
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	新成人を対象に成人式式典を開催し、社会の一員としての新成人の自覚の向上を図る。											
内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校から推薦された代表者や、公募による新成人が運営委員となる運営委員会を開催し、新成人による成人祝賀式を企画運営した。 ・第1回目に昨年の運営委員2～3人にも参加してもらい、企画する上の助言をもらった。 ・委員の初顔合わせである第1回目の委員会では、緊張をほぐすためアイスブレイクゲームを取り入れた自己紹介を実施し、意見が出やすいよう図った。 ・職員は、運営委員会及び、成人祝賀式がスムーズに企画運営できるよう、助言・支援をした。 ・運営委員会の様子をホームページに掲載して、式典の周知を図った。 ・成人祝賀式開催場所:パークアリーナ(アリーナ及びサブアリーナ) ・運営委員会開催回数:8回 ・記念品を1人500円以内の予算で用意している。 ・成人祝賀式終了後、運営委員に運営委員会や式典について、アンケート調査を行った。また、反省会として、運営委員に参加してもらい、次年度の資料とした。 ・応援職員に、式典の運営について意見をもらい、次年度の資料とした。 											
受益者負担	無	内容										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額	
コスト	直接経費		千円	4,428	4,469	4,709
	費用	正職員	従事者数	0.42	0.30	0.30
		人件費	千円	2,253	1,609	1,609
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0
	費用合計		千円	6,681	6,078	6,318
	対前年比		%		90.9	
財源	一般財源		千円	6,681	6,078	6,318
	国・県支出金		千円	0	0	0
	その他財源		千円	0	0	0

業 績	活動指標	活動指標名	単位		H21	H22	H23		
		委員会委員人数	人	目標		20	20	20	
				実績		19	20		
		委員会委員参加率	%	目標		80	80	80	
				実績		89	80		
			目標						
			実績						
	績	成果指標	成果指標名	単位		H21	H22	H23	
			成人式参加率	%	目標		75	75	75
					実績		70	75	
成人式参加者数			人	目標		1,283	1,293		
				実績		1,200	1,300		

事業の自己評価（一次評価）	事業目的の達成状況	第1回目に昨年の運営委員2~3人にも参加してもらい、企画する上の助言をもらうなど、スムーズな運営委員会の進行を図り、成人式参加率及び参加者数も増加し、目標達成に至った。				
	事業を廃止・休止したときの影響	成人式は、全国のほとんどの市町村で開催されており、新成人やその保護者などが、二十歳の門出として式典を楽しみに待ち望んでいる。また、新成人を祝う事業が他にないことから、廃止すれば新成人としての責任や自覚が多少薄れるように思われる。				
	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)			
	判定理由	新成人による運営委員会で、企画運営をして心に残る厳粛な祝賀式が毎年開催できており、当日の参加率も75%と他の行事と比較してもかなり高いため。				
	今後の事業の方向性（今後の取組み・改善計画等）	参加状況から、大幅な改善も必要なく、今後も同じように、新成人による運営委員会に委託し、式の企画運営から開催までスムーズに実施し、より多くの新成人の参加を目指す。				

二次評価	判定	A	市が実施(現状維持又は充実)			
	判定理由	一次評価のとおり				